2019年11月12日

各　　位

会 社 名　　株式会社フーバーブレイン
代表者名　　代表取締役社長　奥水　英行
（コード：3927　東証マザーズ）
問合せ先　　取締役　石井　雅之
（TEL.　03-5210-3061）

埼玉高速鉄道株式会社等の次世代サイネージ事業に対する当社製品の採用決定に関するお知らせ

当社の業務提携先である株式会社ビズライト・テクノロジー（以下、「ビズライト・テクノロジー」という。）が、埼玉高速鉄道株式会社（以下、「埼玉高速鉄道」という。）他２社と次世代サイネージ事業となるダイナミックＤＯＯＨ（Digital Out Of Home）事業の推進を行うことに合意し、当該事業に向けて、当社のIoT機器向けセキュリティ製品「Eye“247”－IoT Secure（アイオーティ セキュア）－（仮称)」を搭載した製品を埼玉高速鉄道の車両内に提供し、同車両内において実証運用することを公表いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．次世代サイネージ事業の概要

ビズライト・テクノロジー、埼玉高速鉄道、株式会社ＮＴＴドコモ及び株式会社ＬＩＶＥ　ＢＯＡＲＤの４社が、鉄道の車両内におけるデジタルサイネージ「ダイナミックビークルスクリーン」を活用し、リアルタイムな環境変化に応じて動的に表示内容や広告を切り替えることができるダイナミックＤＯＯＨ

（注）事業の推進を行うことで合意した旨、2019年11月11日付で、公表いたしました。

（１）ニュースリリースタイトル：

「ＮＴＴドコモ、埼玉高速鉄道、ビズライト・テクノロジー、ＬＩＶＥ　ＢＯＡＲＤ
世界初、鉄道車両内でのダイナミックＤＯＯＨ事業を共同で推進」

（２）ニュースリリースURL：https://bizright.co.jp/pdf/2019/press_release_20191111.pdf
（ビズライト・テクノロジーWEBサイト：https://bizright.co.jp/　より転載）

（注）ＤＯＯＨ（Digital Out Of Home）とは、交通広告、屋外広告及びリテールショップ等に設置されたデジタルサイネージを活用した広告媒体をいいます。

２．次世代サイネージ事業に向けた実証運用の概要

当社は、2019 年 10 月 23 日付公表「(開示事項の経過) 株式会社ビズライト・テクノロジーとの業務提携に関するお知らせ」のとおり、当社の IoT 機器向けセキュリティ製品「Eye“247”- IoT Secure（アイオーティ セキュア）-（仮称)」を、ビズライト・テクノロジーに提供いたしますが、本日 2019 年 11 月 12 日、同社が、「Eye“247”- IoT Secure（アイオーティ セキュア）-（仮称)」を搭載したビズライト・テクノロジー製品エッジボックスの実証運用に関して、下記趣旨を公表いたしました。

ビズライト・テクノロジーは、当社と、エッジコンピューティングのセキュリティ分野において業務提携し、共同開発を行ってきたセキュリティソフト「Edge Detector（エッジ ディテクター)」（注）**を、ビズライト・テクノロジーRaspberryPi ベースのエッジボックス「BH」シリーズでのバンドル提供を開始します。**

昨今、RaspberryPi をはじめとするオープンソースハードウェアは、益々その有用性が評価され、産業用途にも広がりつつあります。ビズライト・テクノロジーエッジボックスは、RaspberryPi ベースで設計された産業用途に利用できる汎用のエッジボックスとして多くの企業に採用されております。

一方、IoT、エッジコンピューティング、エッジ AI の現場において、セキュリティに対する意識は決して高いとは言えない状況であります。

そこでビズライト・テクノロジーは、当社と共同開発した「Edge Detector」をバンドルする製品群を整え、よりセキュアなエッジコンピューティング環境を提供してまいります。

「Edge Detector」が実装されたエッジボックスは、ビズライト・テクノロジーが導入及び運営する埼玉高速鉄道の車両内デジタルサイネージ「ダイナミックビークルスクリーン」で先行的に実証導入されます。

これは当面４G LTE で運用され、将来においては、５G によるリアルタイム通信によるコンテンツやデータを扱うため、RaspberryPi 環境上において「Edge Detector」による強固なセキュリティ対策を実現します。

※実証運用環境

埼玉高速鉄道車両内デジタルサイネージ「ダイナミックビークルスクリーン」

（ビズライト・テクノロジーRaspberryPi ベースのエッジボックス「BH」を使用し、ローカル AI センシングとダイナミックＤＯＯＨを実現したデジタルサイネージ媒体)

台数：60 車両　全 240 台予定

期間：2019 年 11 月中旬より

本格運用開始：2020 年４月より（予定)

（注）「Edge Detector（エッジ ディテクター)」は、当社 IoT 機器向けセキュリティ製品「Eye“247”- IoT Secure（アイオーティ セキュア）-（仮称)」をベースとして、ビズライト・テクノロジーと共同開発いたしましたビズライト・テクノロジー向けモデルであります。

以上